

毎年1月24日から30日は、学校給食週間です。これは、日本全国で、学校給食の意義や役割について考え、理解や関心を深める週間です。日本の学校給食は、明治22年に山形県鶴岡市の私立忠愛小学校において貧困児童を救うために提供されたことが始まりと言われています。この機会に学校給食の歴史や献立を振り返って、学校給食を毎日食べられることに感謝しましょう。

今年の学校給食週間特別献立は、**日光市の姉妹都市の食材**や**郷土料理**を取り入れました。

(実施期間は**21日～27日**までです。28日から5年生の臨海自然教室があるため前倒しで実施します。)

とまこまいし 苫小牧市 ほっかいどう (北海道)



苫小牧の祖と言われる八王子千人同心による歴史的な結びつきや、アイスホッケーを中心に古くからの交流のあるという縁で、昭和57年(1982年)に姉妹都市の盟約を結びました。

26日(月) 開拓丼 牛乳 石狩汁
ハスカップゼリー

開拓丼は、北海道の開拓時代を表現した料理です。

ハスカップは、15mmほどの青紫色の実で酸味があります。昔は苫小牧周辺に自然に実っていて、アイヌの人たちは不老長寿の薬として大切にしてきました。

はちおうじし 八王子市 とうきょうと (東京都)



江戸時代に八王子千人同心が日光東照宮などの火の番を勤めた縁で、昭和49年(1974年)に姉妹都市の盟約を結びました。

22日(木) セルフかてめし 牛乳
さわらの桑都焼き 八王汁

養蚕と絹産業で栄えた八王子は、「桑都」と呼ばれました。今では、養蚕農家が減ってしまいましたが、従来のノウハウを活かした「八王子織物」は八王子市の名産です。ふるさと料理としては、桑の葉の粉を使用した「桑都焼き」が有名です。

おだわらし 小田原市 かながわけん (神奈川県)



江戸時代に農村復興を手がけた二宮尊徳の生誕の地であり、日光は尊徳の終焉の地であるという縁で、昭和55年(1980年)に姉妹都市の盟約を結びました。

21日(水) コツペパン マーシャルビーンズ 牛乳
おかめうどん にらまんじゅう 大根とツナのサラダ

小田原かまぼこは、相模湾でとれる新鮮な魚と、箱根山系の良質な水を使って作られます。東海道の宿場町として栄えた小田原では、多くの旅人に親しまれ、その評判が全国に広まりました。

にっこうし 日光市 とちぎけん (栃木県)



県土の約1/4という広大な面積に豊かな自然環境と「世界遺産・日光の社寺」や「日光杉並木街道」、「足尾銅山施設」など多くの歴史的・文化的遺産を有し、随所に湧出する豊富な温泉など豊かな観光資源に恵まれています。

27日(水) ご飯 牛乳 HIMITSU豚のたつたあげ
キャベツの塩こんが和え ゆばのすまし汁 水ようかん

日光湯波は、日光開山時に修験者によって持ち込まれた精進料理が起源で、京都の湯葉とは異なり、二枚仕立てで厚みがあり、豆乳の風味を強く感じられるのが特徴です。

ラピッド市 (アメリカ) (サウスダコタ州)



旧今市市時代、市民提案により民間の交際交流を図ることを目的に、平成6年(1994年)に姉妹都市の盟約を結びました。サウスダコタ州南西部の「ラッシュモア山国立記念公園」にあるアメリカを代表する4人の大統領の顔の巨大な彫刻が有名です。

23日(金) セルフハンバーガー 牛乳
ほうれん草ソテー コーンシチュー

ハンバーガーは、アメリカの国民食です。ドイツから伝わったハンバーグを食べやすいようにパンにはさんだのが始まりと言われています。